

# 文字の入力と設定













## ● 文字を入力する

### 文字入力モードの切り替え


漢字・ひらがな、カタカナ、英字、数字など、入力する文字によって入力モードを切り替えます。

#### 文字入力画面で 入力モードを選択

以下の項目から選択します。選択可能な入力モードは、利用中の機能により異なります。














 漢あ	漢字・ひらがなモード	 絵文字	絵文字入力モード
 カナ	全角カタカナモード	 か	半角カタカナモード
 a A	全角英字モード	 aA	半角英字モード
 1 2	全角数字モード	 0 1 2	半角数字モード
 ? &	全角記号モード	 * ? &	半角記号モード
 コード	コード入力モード	 #	顔文字入力モード








- 文字入力画面で  を押すと、絵文字入力モードに切り替えることができます。一部利用できない機能があります。

### 各キーに割り当てられた文字について

各キーに割り当てられている文字は以下のとおりです。

キー	入力モード			
	漢字・ひらがなモード	カタカナモード (全角/半角)	英字モード (全角/半角)	数字モード (全角/半角)
 1	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	. @ _ : / ; ' ~	1
 2	かきくけこ	カキクケコ	abcABC2	2
 3	さしすせそ	サシスセソ	defDEF3	3
 4	たちつてとっ	タチツテトッ	ghiGHI4	4
 5	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL5	5
 6	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO6	6
 7	まみむめも	マミムメモ	pqrPQRS7	7
 8	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV8	8
 9	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ9	9
 0	わをんわー (長音)、。!? ☐ (スペース)	全角 ワヲン ー (長音) 。!? ☐ (スペース)	半角 ワヲン ー (長音) 。!? ☐ (スペース)	。 _ : / ; ' ~   ☐ (スペース) 0
 *	° (濁点) ° (半濁点) 大文字/小文字切り替え		大文字/小文字切り替え	*
 #	文字が未確定のとき : 逆順表示 文字が確定しているとき :  (改行)			#

- ・ 英字モードの「」(チルダ)は、全角英字モードの場合には「~」になります。
- ・  で濁音や半濁音に変換する際、濁音や半濁音にできない文字や半角カタカナの場合は、次の文字として「」が入力されます。
- 例: 「か」に、「」(濁点)を付ける場合、 となります。
- ただし、ひらがなやカタカナの小文字変換が可能な文字の場合、 で濁音や半濁音にはできません。文字確定後、 で入力します。
- 例: 「ツ」に、「」(濁点)を付ける場合は、「ツ」を確定した後 で入力します。



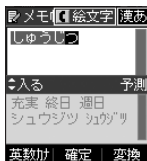
- 文字を確定していないとき、**[#]**を押すと逆の順序で文字が表示されます（逆順表示）。  
例：「お」を入力する場合は、**[1]** ▶ **[#]**で入力できます。  
ただし、**[\*]**で濁音や半濁音に変換した後や、大文字／小文字に切り替えた後は逆順表示することができません。
- 文字を入力した後、**[\*]**を押すと小文字に変換することができます。  
例：「ゆ」を入力する場合は、「ゆ」を入力した後**[\*]**で入力できます。
- 文字を確定した後、**[⇐]**を押しても改行することができます。  
ただし、予測変換の候補が表示されているときは改行できません。
- 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力したいときは、最初の文字を入力後に**[⇐]**を押してから、続けて入力します。  
例：「あお」と入力する場合は、**[1]**を1回「あ」 ▶ **[⇐]** ▶ **[1]**を5回「お」で入力できます。

## 文字を入力する

ダイヤルキーを繰り返し押して、文字を入力します。

例：「しゅうじつ」を入力

漢字・ひらがなモードで **[3]**を2回「し」 ▶ **[8]**を2回「ゆ」 ▶ **[\*]**を1回「ゆ」  
▶ **[1]**を3回「う」 ▶ **[3]**を2回「し」 ▶ **[\*]**を1回「じ」 ▶ **[4]**を3回「つ」 ▶  
**[■]** **[確定]**



- 入力できる最大文字数が決まっている場合、文字によっては入力できる文字数が少なくなることがあります。



- 確定した文字を削除するには、以下の手順で行います。  
**[⇐]**で削除したい文字の前にカーソルを合わせる ▶ **[DEL]**
- 確定した文字をすべて削除するには、以下の手順で行います。  
入力されている文字の最初または最後にカーソルを置く ▶ **[DEL]**を長く（1秒以上）押す  
文字がすべて削除されます。入力されている文字の最初と最後以外にカーソルを置いた場合は、カーソル以降の文字が削除されます。

## 漢字に変換する

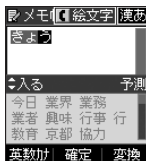
漢字変換の方法には、予測変換と通常変換があります。予測変換設定を「ON」に設定していると、過去に一度変換した単語は、すべての文字を入力しなくても、変換候補として表示され、その中から選択することができます。お買い上げ時は、予測変換設定が「ON」に設定されています。

例：「きょう」を入力して、「京」に変換する

漢字・ひらがなモードで

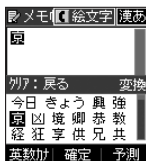
1 [2]を2回「き」▶ [8]を3回「よ」▶ [✖]を1回「よ」▶ [1]を3回「う」

予測変換画面



2 [変換] ▶ [↑] ▶ [⇄]で「京」を選択し、[確定]

通常変換画面



例：「かいてき」を「快適」と変換した後、再度、同様に変換するとき

[2]を1回「か」▶ [⇄] ▶ [⇄]で「快適」を選択し、[確定]

予測変換に設定中は、[変換]を押すと通常の変換候補が表示されます。

例：電話帳の名前入力画面（予測変換）



- 予測変換を解除して、通常変換で入力することもできます（「予測変換を設定する」52ページ）。通常変換では、文字の入力後[⇄]を押すと、変換候補が表示されます。また通常変換では一度にたくさんの文字を入力した後に変換する場合、自動的に文節を区切って入力されます。[⇄]を押すと、文節を区切り直すことができます。ただし、「候補選択キー設定」（52ページ）を「上下左右」に設定しているときに、変換候補を選択中は[⇄]を押すと、[⇄]で文節を区切りなおす操作ができます。
- 変換時の候補は、過去に変換した順に表示されます。
- 変換候補の選択を[⇄]で行うように設定することができます（「変換候補を選択するキーを設定する」52ページ）。
- 変換時の候補は、過去に文節に区切って変換した単語も表示します。  
例：はじめに「あいかかさ」と入力し、「赤い傘を」と変換した場合  
次回入力時には、「あ」→「赤い」、「か」→「傘を」を候補として表示します。
- 文字を確定すると、その文字に続く助詞や単語などの予測候補が表示されます。
- 予測変換で学習した情報は削除することができます（「学習情報を削除する」53ページ）。
- 変換候補表示中に、[英]【英数カナ】を押すと、英数カナのみの候補が表示されます。

## ● 文字入力メニューを使う

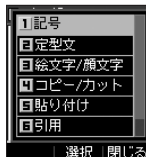
記号や文字列を選択／引用して入力する場合は、入力したい位置にカーソルを移動してから、以下の操作を行います。

文字入力画面で **☐** **【メニュー】** を押す

文字入力画面のメニュー

以下の項目から選択します。表示される項目および順番は、利用中の機能により異なります。

記号	記号を入力します（「記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する」49ページ）。	
定型文	定型文を入力します（「記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する」49ページ）。	
絵文字／顔文字	絵文字／顔文字を入力します（「記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する」49ページ）。	
コピー／カット	文字をコピー／カットします（50ページ）。	
貼り付け	コピー／カットした文字を貼り付けます（50ページ）。	
引用	電話帳	▶ 電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 引用したい項目を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 電話帳に登録されている内容を引用して、電話番号やEメールアドレス、URLなどを入力することができます。
	プロフィール	▶ 引用したい項目を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 プロフィール、メモ帳に登録されている内容を引用して、電話番号やEメールアドレス、URLなどを入力することができます。
	メモ帳	▶ 引用したい項目を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 プロフィール、メモ帳に登録されている内容を引用して、電話番号やEメールアドレス、URLなどを入力することができます。



文字の入力と設定

### 記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する

文字入力画面のメニューで


以下の項目から選択します。表示される項目および順番は、利用中の機能により異なります。

1 記号	1 半角	▶ 記号を選択し、 <input type="checkbox"/> 【確定】
	2 全角	
	3 コード入力	▶ 文字コードを入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 読みのわからない文字を、JIS X 0213文字コードを使って入力します。文字コード入力での数字の入力は、ダイヤルキーもしくは <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を押します。
2 定型文	▶ 定型文を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】	
3 絵文字／顔文字	1 絵文字	▶ 絵文字を選択し、 <input type="checkbox"/> 【確定】
	2 顔文字	▶ 顔文字を選択し、 <input type="checkbox"/> 【確定】





● ご注意

- PHSや携帯電話またはパソコンなどに絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

#### お知らせ

- 定型文／顔文字の内容については、「各機能の選択項目一覧」(145ページ)をご参照ください。
- 文字入力画面でを押すと、絵文字入力モードに切り替えることができます。一部利用できない機能があります。
- 過去に絵文字を入力している場合は、絵文字選択画面の最初に絵文字履歴が表示されます。絵文字履歴は削除することもできます(「絵文字の履歴を削除する」53ページ)。
- 記号または絵文字は連続して選択できます。

例：一度に2種類の絵文字を入力  
絵文字選択画面で1つ目の絵文字を選択し、【連続】▶2つ目の絵文字を選択▶【確定】(または【連続】▶【閉じる】)





- 絵文字を選択中にを押すと、一番新しく選択された絵文字は削除され、入力画面に戻ります。
- 定型文選択中は、【表示】を押すと選択した定型文を表示し、確認することができます。編集する場合は、再度【編集】を押して定型文を編集し、【登録】を押します。

## 文字をコピー／カット／貼り付けする

入力した文字をコピー(複写)やカット(移動)することができます。また、コピー／カットした文字を別の画面へ貼り付け(ペースト)することができます。

### 文字入力画面のメニューで

以下の項目から選択します。

[4] コピー／カット	[1] コピー	▶  でコピー／カットしたい範囲の始点を選択し、  【始点】▶ ▶  で終点を選択し、  【終点】
	[2] カット	
[5] 貼り付け	現在カーソルがある場所に、コピー／カットした文字を貼り付けます。	

#### ご注意

- コピー／カットした文字列は、電源をOFFにすると消去されます。
- 画面によって使用できない文字が含まれている場合は、貼り付けできません。

#### お知らせ

- コピー／カットは1件のみ、全角・半角共に512文字まで記憶されます。



## よく使う単語を登録／編集／削除する（ユーザ辞書）

機能番号81

よく使う文字や記号を短い読みで変換できるよう、辞書に単語を100件まで登録できます。単語は全角・半角共に20文字まで、読みは20文字まで登録できます。

登録できる文字は以下のとおりです。読みはひらがなで登録します。

- ・漢字、ひらがな、絵文字、顔文字
- ・全角英数字、記号、カタカナ
- ・半角英数字、記号、カタカナ

待受画面で

1  ▶  8 ▶  1

■ はじめて単語を登録する場合

2  **【登録】** ▶ **単語を入力し、**  **よみを入力** ▶  **【登録】**

■ すでに単語が登録されている場合

2  **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。

1 <input type="checkbox"/> <b>登録</b>	▶ <b>単語を入力し、</b> <input type="checkbox"/> <b>よみを入力</b> ▶ <input type="checkbox"/> <b>【登録】</b>
2 <input type="checkbox"/> <b>編集</b>	▶ <b>単語を編集し、</b> <input type="checkbox"/> <b>よみを編集</b> ▶ <input type="checkbox"/> <b>【登録】</b> 選択した単語を編集します。
3 <input type="checkbox"/> <b>削除</b>	▶ <input type="checkbox"/> <b>「1件」、</b> <input type="checkbox"/> <b>「選択」、</b> または <input type="checkbox"/> <b>「全件」</b> 単語を削除します（「各機能の情報を削除する」121ページ）。

ユーザ辞書一覧画面

ユーザ辞書

登録がありません

戻る | 登録

ユーザ辞書登録  
内容表示画面

ユーザ辞書

単語 永遠

よみ とわ

戻る | 編集 | 削除

お知らせ

- ユーザ辞書の登録内容（ユーザ辞書登録内容表示画面）を表示するには、以下の手順で行います。  
ユーザ辞書一覧画面で登録されているユーザ辞書を選択し、 **【表示】**
- ユーザ辞書の1件削除は、以下の手順でも行えます。  
ユーザ辞書登録内容表示画面で  **【削除】** ▶  **【はい】**

## 予測変換を設定する（予測変換設定）

機能番号82

文字を入力すると、入力した文字の後に続く予測される文字（単語）を予測変換候補として表示します。すべての文字を入力しなくても目的の文字を表示させ、入力することができます。

お買い上げ時：  
「ON」待受画面で  ▶  8 ▶  2 ▶  1 **【ON】** または  2 **【OFF】**

## 変換候補を選択するキーを設定する（候補選択キー設定）

機能番号83

変換候補を選択するキーを、 または  に設定することができます。

お買い上げ時：  
「上下左右」待受画面で  ▶  8 ▶  3 ▶  1 **【上下左右】** または  2 **【上下】**

## ● 学習情報を削除する（学習内容リセット）

機能番号84

文字変換の学習情報や予測変換の情報をすべて削除し、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で □ ▶ 8 ▶ 4 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」

## ● 絵文字の履歴を削除する（絵文字履歴リセット）

機能番号85

過去に絵文字を入力している場合は、絵文字選択画面の最初に絵文字履歴が表示されます。  
絵文字履歴は削除することができます。

待受画面で □ ▶ 8 ▶ 5 ▶ 1 「はい」



# 電話帳の使いかた

## ● 電話帳に登録する

電話帳には、電話帳データを1000件まで登録できます。

### ● ご注意

● 以下のロック機能が設定されているときは、電話帳の使用が制限されます。

ロック機能		設定値	制限される機能	参照先
操作 ロック	電話帳閲覧	禁止	電話帳を起動するときに暗証番号を入力する必要があります。	89ページ
管理者 ロック	電話帳の編集を許可	許可しない	電話帳の登録／編集／削除の利用不可	101ページ
	赤外線通信の使用を許可	許可しない	電話帳データの赤外線送受信不可	102ページ
	電話帳の閲覧を許可	許可しない	電話帳の起動／登録項目の利用不可	103ページ

### ● お知らせ

● 電話帳にシークレット指定する場合は、シークレット表示設定を「表示する」に切り替えてから電話帳データの指定を行います（「シークレット表示設定を設定する」91ページ）。

## 電話帳データの各項目を登録する

待受画面で  を長く（1秒以上）押す ▶ 登録する項目を選択 ▶ 各内容を入力または選択 ▶  【登録】 または  【登録】

電話帳登録画面



以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> (電話帳No.)	▶ <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 電話帳No. (000～999) を入力し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 電話帳データ1件ごとの番号です。空いている一番小さい電話帳No.がはじめに表示されますが、 <input type="checkbox"/> で変更することもできます。
<input type="checkbox"/> グループ登録	▶ <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ グループを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 友人や会社関係などのグループに分類して登録しておく、電話をかけるときに簡単に探し出すことができます。登録できるグループは「グループ00」～「グループ19」までで、グループを設定しない場合は「グループ00」に登録されます。また、グループには名前を付けたり、着信パターンを設定できます（「グループを設定する」64ページ）。
<input type="checkbox"/> (名前)	▶ 名前を入力する 名前を入力します（全角・半角共に24文字まで）。
<input type="checkbox"/> (読み)	名前を入力した後、自動的に入力されます（半角カナ・半角英数字で24文字まで）。 ■ 読みを修正する場合 ▶ <input type="checkbox"/> 【読み】 を選択し、ヨミガナを修正する
<input type="checkbox"/> (電話番号*) (電話番号種別)	▶ 電話番号を入力 ▶ <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 種別を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 電話帳データ1件につき、電話番号を3つまで登録できます（32桁まで）。電話番号を登録すると、次の電話番号欄が表示されます。 「-（ハイフン）」や「P（ポーズ）」を入力するには <input type="checkbox"/> 【-/P】 を押しします。 <input type="checkbox"/> 【-/P】 を押すごとに「-」と「P」の表示が切り替わります。また、 <input type="checkbox"/> 【*】 を長く（1秒以上）押すと「-（ハイフン）」を、 <input type="checkbox"/> 【#】 を長く（1秒以上）押すと「P（ポーズ）」を入力することもできます。

計分設定 <b>お買い上げ時：「OFF」</b>	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>1</b> 「ON」または <b>2</b> 「OFF」 分計発信のON/OFFを設定します（「分計サービスについて（お申し込み必要）」130ページ）。 複数の電話番号を登録した場合、それぞれに計分設定を行います。
(メールアドレス*) (メールアドレス種別)	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>1</b> <b>【選択】</b> ▶ <b>種別を選択し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> 電話帳データ1件につき、Eメールアドレスを3つまで登録できます（半角英数字、半角記号で64文字まで）。
(住所) (住所種別)	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>1</b> <b>【選択】</b> ▶ <b>種別を選択し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> 住所を入力します（全角・半角共に40文字まで）。
URL (URL)	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>URLを入力する</b> URLを入力します（半角英数字・半角記号で255文字まで）。
血液型	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>1</b> ~ <b>5</b> (血液型を選択)
誕生日	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>誕生日を入力し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【確定】</b> 入力できる日付は、1900年1月1日~2090年12月31日までです。 誕生日を入力中に【リセット】を押すと、入力していた誕生日がリセットされ、「0000年00月00日」に戻ります。
星座	誕生日を入力した後、12星座が自動的に入力されます。13星座で入力したいなど、自動で入力された星座に修正が必要な場合は、手動で星座を修正してください。 <b>■ 星座を修正する場合</b> <input type="checkbox"/> <b>【★】星座</b> を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>「牡羊座」～「魚座」、または「不明」</b> を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b>
(趣味)	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>趣味を入力する</b> 趣味を入力します（全角・半角共に10文字まで）。
(メモ)	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>メモを入力する</b> メモを入力します（全角・半角共に80文字まで）。
シークレット指定*2	<input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>1</b> 「指定する」または <b>2</b> 「指定しない」 「指定する」に設定すると、データをシークレット指定できます。
着信設定	着信/SMS受信時にお知らせする音の設定をします（「着信/SMS受信時の音を設定する」56ページ）。

\*1：電話番号/メールアドレスを2つ以上登録した場合、通常使用する電話番号を設定します。設定は以下の手順で行います。

「通常使用電話番号」を選択し、 **【選択】** ▶ **通常使用する電話番号を選択し、**  **【選択】**

\*2：シークレット表示設定が「表示する」のときに表示されます（「シークレット表示設定を設定する」91ページ）。

### ご注意

- 相手が一般電話の場合は、必ず市外局番から入力してください。PHS/携帯電話の場合は必ず「0」から始まる11桁の番号を入力してください。
- 空いている電話帳No.を入力した場合に、「登録できません。電話帳No.を変更してください」と表示されるときは、そのNo.はシークレット指定が「指定する」になっている電話帳データとして、すでに登録されています。シークレット指定されている電話帳データを置き換えて登録するには、シークレット表示設定を「表示する」にしてから上書き登録してください（「シークレット表示設定を設定する」91ページ）。
- ひとつの電話帳データを複数のグループに登録することはできません。
- 名前は必ず入力してください。名前を入力しないと電話帳に登録できません。

**お知らせ**

- 電話帳データの作成中に、着信などによって作成が中断した場合は、作成内容が一時的に保存されます。再度、電話帳データの新規登録を開始すると確認画面が表示されます。「はい」を押すと、作成を再開できます。「いいえ」を押すと、作成中のデータは破棄され電話帳データを新規に作成することができます。
- 電話帳No.の入力は以下の手順でも行えます。

空いている一番小さい電話帳No.を入力する	▶ <input type="checkbox"/> <b>✖</b> を押す
百の位を指定して、一番小さい電話帳No.を入力する	▶ <input type="checkbox"/> <b>0</b> ~ <input type="checkbox"/> <b>9</b> (百の位) ▶ <input type="checkbox"/> <b>✖</b>
百の位と十の位を指定して、一番小さい電話帳No.を入力する	▶ <input type="checkbox"/> <b>0</b> ~ <input type="checkbox"/> <b>9</b> (百の位) ▶ <input type="checkbox"/> <b>0</b> ~ <input type="checkbox"/> <b>9</b> (十の位) ▶ <input type="checkbox"/> <b>✖</b>
電話帳No.を選択する	▶ <input type="checkbox"/> <b>☑</b> (一つ大きい番号) または <input type="checkbox"/> <b>☐</b> (一つ小さい番号) を押して番号を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>☑</b> <b>【選択】</b>

- 入力した電話帳No.がすでに登録されている場合は、上書き確認画面が表示されます。すでにある電話帳No.と置き換えて登録するには、「はい」を押します。
- シークレット表示設定を「表示しない」に設定中のシークレット指定した電話帳データについて（「シークレット表示設定を設定する」91ページ）
  - ・シークレット指定した電話帳データの相手から電話がかかってきたとき、名前は表示されずに電話番号が表示されます。
  - ・シークレット指定した電話帳データから電話をかけたり、内容を修正したりするときは、シークレット表示設定を「表示する」に設定してから行ってください。
- シークレット表示設定を「表示する」に設定しているときシークレット指定した電話帳データは、電話帳一覧表示画面（58ページ）で「」が表示されます。
- 「電話番号」で電話番号（電話番号を複数登録した場合は通常使用電話番号）の分計設定を「ON」に設定した電話帳データは、電話帳一覧表示画面（58ページ）で「」が表示されます。
- 「+（プラス）」付きの電話番号を入力する場合、「+」を直接入力することはできません。「+」を入力するには以下のような方法で入力します。
  - ・メモ帳などのテキストからコピー/カットして貼り付ける。
  - ・着信履歴/発信履歴や、電話帳データの受信/インポートなどで「+」付きの電話番号を電話帳登録し、引用する。

**■ 着信 / SMS受信時の音を設定する**

電話帳に登録している相手から音声着信があったとき、またはSMSを受信したときの音の種類の設定をします。

**電話帳登録画面で**  **【着信設定】** を選択し、 **【選択】**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> <b>音声着信音</b> お買い上げ時： 「設定なし」	<input type="checkbox"/> <b>設定なし</b>	「音声着信の音 / バイブレータを設定する」(77ページ) で設定した着信音が鳴ります。
	<input type="checkbox"/> <b>固定パターン</b>	▶ <input type="checkbox"/> <b>☑</b> でパターンを選択し、 <input type="checkbox"/> <b>☑</b> <b>【選択】</b> 着信音をあらかじめ用意されている8種類のパターンから選択します。
<input type="checkbox"/> <b>SMS受信音</b> お買い上げ時： 「設定なし」	<input type="checkbox"/> <b>設定なし</b>	「SMSの受信音 / バイブレータを設定する」(78ページ) で設定した受信音が鳴ります。
	<input type="checkbox"/> <b>固定パターン</b>	▶ <input type="checkbox"/> <b>☑</b> でパターンを選択し、 <input type="checkbox"/> <b>☑</b> <b>【選択】</b> 受信音をあらかじめ用意されている8種類のパターンから選択します。

**お知らせ**

- 音声着信音、またはSMS受信音を選択しているときに **⏮** **【再生】** で、選択している着信音または受信音を再生できます。再生中に **⏸** **【停止】** を押すと、再生を終了します。

## 他の機能から電話帳に登録する

電話帳に他の機能から電話帳データの新規登録や追加登録をすることができます。登録できる機能は以下のとおりです。

- ・ 電話番号入力画面
- ・ 発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモ
- ・ SMSの宛先、本文

例：着信履歴から電話番号を追加登録する

待受画面で ▶ 登録したい電話番号の着信履歴を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 3 「電話帳へ登録」

以下の項目から選択します。

1 新規	選択した履歴の電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳に登録する」54ページ）。
2 追加	<p>▶ 追加登録する電話帳データを選択し、 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、 【選択】 ▶  【登録】 ▶ 1 「はい」</p> <p>すでに登録されている電話帳データに、着信履歴の電話番号を追加登録します。</p>

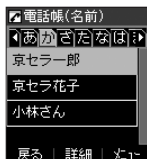
## ● 電話帳データを呼び出す

電話帳データを呼び出すと一覧画面が表示されます。検索したい項目を入力してから電話帳データを呼び出すこともできます（「電話帳データを呼び出すときの検索方法を設定する」64ページ）。

待受画面で ▶ 内容を確認したい電話帳データを選択し、 [詳細]

選択した電話帳データの詳細画面が表示されます。

電話帳一覧表示画面



電話帳詳細表示画面



### お知らせ

- シークレット指定した電話帳データは、シークレット一時表示（61ページ）、またはシークレット表示設定（91ページ）を「表示する」に設定中に表示することができます。
- 電話帳の表示順を「名前順」、「電話帳No.順」、「グループ順」に設定することができます（「電話帳の各種設定をする」63ページ）。
- 電話帳一覧画面表示中にダイヤルキーを押すと、以下の操作ができます。ただし、電話帳に電話帳データが登録されていない場合はヨミ検索できません。

キー操作	表示順設定		
	名前順	電話帳No.順	グループ順
~	カナ検索	ヨミ検索	ヨミ検索
~  を長く（1秒以上）	ヨミ検索	ヨミ検索	ヨミ検索
	—	ヨミ検索	ヨミ検索
を長く（1秒以上）	ヨミ検索	ヨミ検索	ヨミ検索
	—	—	—
を長く（1秒以上）	—	—	—

※カナ検索：59ページ／ヨミ検索：62ページをご参照ください。

## カナ検索で電話帳データ呼び出す

電話帳一覧画面が「名前順」で表示されているときは、数字キーを押すとキーに割り当てられた行（あかさたな〜）のタブを切り替えることができます。また、すでに表示されている行（あかさたな〜）の数字キーを押すたびに、その行（あかさたな〜）の段（あいうえお）を切り替えます。

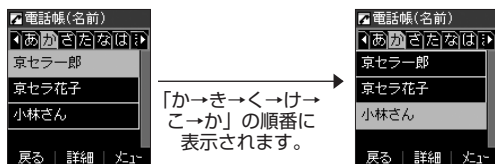
例：か行を表示する

電話帳一覧画面（名前順表示中）で **2** を押す



例：「こ」から始まる電話帳データを表示する

電話帳一覧画面（名前順表示中）で「か行」表示中に **2** を押す



## 時短検索で電話帳データ呼び出す

待受画面で数字キーを長く（1秒以上）押して、キーに割り当てられた行（あかさたな〜）の電話帳一覧表示画面を呼び出すことができます。

例：か行の電話帳一覧表示画面を呼び出す

待受画面で **[2]** を長く（1秒以上）押す

さらに電話帳データを検索するときは、「カナ検索」（59ページ）で検索できます。

 ご注意

- 「位置情報通知機能」（118ページ）が「ON」に設定されているときは、時短検索できません。

 お知らせ

- 時短検索では、電話帳一覧画面が以下のように表示されます。











キー（長押し）	表示されるタブ
[1]	あ
[2]	か
[3]	さ
[4]	た
[5]	な
[6]	は
[7]	ま
[8]	や
[9]	ら
[0]	わ

- 時短検索をしたときは、設定にかかわらず以下のように表示されます。
  - ・ 「表示順設定」（63ページ） : 「名前順」
  - ・ 「呼び出し時検索設定」（63ページ） : 「なし（一覧表示）」

## ■ 一覧表示画面 / 詳細画面のメニューを使う

### 一覧表示画面 / 詳細画面で 電話帳データを選択 ▶ 【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

新規登録*1	電話帳データを新規登録します（「電話帳に登録する」54ページ）。
検索*1	登録した電話帳データを名前や電話番号などで検索することができます（「電話帳データを検索する」62ページ）。
発信*2	<p>■ 選択した電話番号に電話をかける場合</p> <p>▶  または  【発信】</p> <p>■ 選択した電話番号を編集して電話をかける場合</p> <p>▶ 電話番号を編集し、 または  【発信】</p> <p>■ 選択した電話番号に特番を付加して電話をかける場合</p> <p>▶  【メニュー】 ▶  「184発信」、 「186発信」、 「分計発信」、 「184分計発信」、または  「186分計発信」</p>
SMS作成*2	選択した電話帳データの電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」67ページ）。
編集	選択した電話帳データを編集します。各項目の編集方法については、「電話帳データの各項目を登録する」（54ページ）をご参照ください。
1件削除*3	電話帳データを削除します（「各機能の情報を削除する」121ページ）。
設定*1	電話帳の表示や呼び出し順の切り替えおよび登録件数の確認などを行います（「電話帳の各種設定をする」63ページ）。
削除*1	電話帳データを削除します（「各機能の情報を削除する」121ページ）。
シークレット 一時表示*4	<p>▶ 暗証番号を入力</p> <p>一時的にシークレット表示設定を「表示する」に設定し、シークレット指定されている電話帳データの情報を表示します。電話帳を終了すると、シークレット表示設定が「表示しない」に戻ります。</p>
一括送出*5	選択した電話帳データの電話番号を、通話中にプッシュ信号として送出します。
赤外線送信	電話帳データを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」124ページ）。

\*1：一覧表示画面のみ表示されます。





\*2：「電話番号」を登録しているときのみ表示されます。

\*3：詳細画面のみ表示されます。

\*4：シークレット表示設定（91ページ）を「表示する」に設定中は表示されません。

\*5：通話中（電話帳データに電話番号が登録済み）のみ表示されます。

### お知らせ

- 「発信」、「SMS作成」で1件の電話帳データに複数の電話番号が登録されているときは、「通常使用電話番号」に登録した電話番号が使用されます。
- 通常使用以外の電話番号へ電話をかけたり、SMSを送信するには、以下の手順で行います。  
 一覧表示画面で  【詳細】 ▶  で発信 / 送信する電話番号を選択 ▶  【メニュー】 ▶ 「発信」または「SMS作成」を選択し、 【選択】



## ● 電話帳データを検索する

登録した電話帳データを名前や電話番号などで検索することができます。

一覧表示画面で  **【メニュー】** ▶  **【検索】**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> <b>名前</b>	▶ <b>検索する名前を入力し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【検索】</b> 名前を入力して検索します（全角・半角共に24文字まで）。名前を入力しないで <input type="checkbox"/> <b>【検索】</b> を押すと、名前順の一覧表示画面になります。
<input type="checkbox"/> <b>ヨミ</b>	▶ <b>検索する読みを入力し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【検索】</b> 読みを入力して検索します（半角カナ・半角英数字で24文字まで）。読みを入力しないで <input type="checkbox"/> <b>【検索】</b> を押すと、名前順の一覧表示画面になります。
<input type="checkbox"/> <b>キーワード</b>	▶ <b>検索するキーワードを入力し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【検索】</b> 名前などに含まれるキーワードを入力して検索します（全角・半角共に24文字まで）。
<input type="checkbox"/> <b>グループ</b>	▶ <b>検索するグループを選択し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> グループに登録されている電話帳データを名前順に表示します。
<input type="checkbox"/> <b>電話帳No.</b>	▶ <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ <b>検索する電話帳No.を入力し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【検索】</b> 電話帳No.を入力して検索します。
<input type="checkbox"/> <b>電話番号</b>	▶ <b>検索する電話番号を入力し、</b> <input type="checkbox"/> <b>【検索】</b> 電話番号の一部を入力して、その番号を含む電話帳データを検索して表示します（32桁まで）。

### 🔍 **ご注意**

● シークレット指定した電話帳データは、シークレット一時表示（61ページ）、またはシークレット表示設定（91ページ）を「表示する」に設定中に検索することができます。

### 📢 **お知らせ**

- 検索結果の表示方法は、検索の種類によって異なります。
- 「名前」検索は前方一致で検索します。
- 「ヨミ」検索には以下の文字が使用できます。  
・アイ〜ワア\* -（長音）aAb~zZ01~89!#`\*.-/:;?@\_スペース
- 「名前」 / 「ヨミ」 / 「電話帳No.」検索で、入力した文字 / 電話帳No.の電話帳データがないときは、「該当するデータがありません」と表示された後、検索した文字 / 電話帳No.に一番近い、次の文字 / 電話帳No.の電話帳データを表示します。ただし、「名前」検索で漢字・絵文字が含まれている場合は一番近い次の文字は表示されません。
- 「キーワード」 / 「電話番号」検索で、入力した文字 / 電話番号の電話帳データがないときは、「該当するデータがありません」と表示します。
- 「キーワード」検索で「+（プラス）」を入力すると「+（プラス）」が含まれた電話帳データを検索します。
- 「電話番号」検索で電話番号に「P（ポーズ）」が含まれている場合は、ポーズ前までの番号で検索されます。また、「-（ハイフン）」、「+（プラス）」は除外して検索されます。

## ● 電話帳から発信する

電話帳データ呼び出して電話をかけることができます。

電話帳データ呼び出すと一覧画面が表示されます。検索したい項目を入力してから電話帳データ呼び出すこともできます（「電話帳データ呼び出すときの検索方法を設定する」64ページ）。

待受画面で  ▶ 電話帳データを選択し、








● 1件の電話帳データに複数の電話番号の登録があるときは、「通常使用電話番号」に登録した電話番号が使用されます。

● 通常使用以外の電話番号にかけるときは、以下の手順で行います。

待受画面で  ▶ 電話帳データを選択し、 ▶  で発信する電話番号を選択し、 【発信】または 


または

 ▶ 【電話】を選択し、 【選択】 ▶  【電話帳】 ▶  【一覧】 ▶ データを選択し、 【詳細】 ▶  で発信する電話番号を選択し、 【発信】または 








● 電話帳からのSMS送信については、「一覧表示画面／詳細画面のメニューを使う」（61ページ）をご参照ください。

## ● 電話帳の各種設定をする

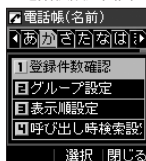
電話帳の表示切り替えや表示順の設定および登録件数の確認を行います。

一覧表示画面で  【メニュー】 ▶  【設定】

以下の項目から選択します。

 登録件数確認	現在の登録件数と登録できる残りの件数などを表示します。シークレット表示設定（91ページ）を「表示する」に設定時には、シークレット指定されている電話帳の件数も表示されます。	
 グループ設定	電話帳のグループ名を登録したり、電話やSMSの着信時に、グループによって着信パターンを設定できます（「グループを設定する」64ページ）。	
 表示順設定	 名前順	電話帳を名前順で表示します。
	 電話帳No.順	電話帳を電話帳No.順で表示します。
	 グループ順	電話帳をグループ順で表示します。
 呼び出し時検索設定	電話帳を呼び出したときの電話帳データの検索方法を設定します（「電話帳データ呼び出すときの検索方法を設定する」64ページ）。	

電話帳設定画面



## グループを設定する

電話帳のグループ名を登録したり、電話やSMSの着信時に、グループによって着信パターンを設定できます。

電話帳設定画面で **2** 「グループ設定」 ▶ 設定したいグループを選択 ▶ **00** 【メニュー】

以下の項目から選択します。

<b>1</b> グループ名登録	▶ グループ名を入力し、 <b>0</b> 【確定】 電話帳のグループにお好みの名前を付けることができます（全角・半角共に16文字まで）。「グループ00」のグループ名は変更できません。
<b>2</b> 着信設定	グループによって、着信／SMS受信時にお知らせする音の設定を変更できます。詳しい操作手順は、「着信／SMS受信時の音を設定する」（56ページ）の表内をご参照ください。

## 電話帳データを呼び出すときの検索方法を設定する

電話帳データを呼び出すときの検索方法を設定することができます。

電話帳設定画面で **4** 「呼び出し時検索設定」を押す

お買い上げ時：  
「なし（一覧表示）」

以下の項目から選択します。

<b>1</b> 名前	「名前」検索（62ページ）で電話帳データを検索して表示します。
<b>2</b> ヨミ	「ヨミ」検索（62ページ）で電話帳データを検索して表示します。
<b>3</b> キーワード	「キーワード」検索（62ページ）で電話帳データを検索して表示します。
<b>4</b> グループ	「グループ」検索（62ページ）で電話帳データを検索して表示します。
<b>5</b> 電話帳No.	「電話帳No.」検索（62ページ）で電話帳データを検索して表示します。
<b>6</b> 電話番号	「電話番号」検索（62ページ）で電話帳データを検索して表示します。
<b>7</b> なし（一覧表示）	検索画面は表示せず、「表示順設定」（63ページ）で設定されている方法で電話帳データを表示します。



# メールの使いかた

## SMSについて

本機はSMS対応の電話機です。SMSは電話番号を使用して、SMS対応の電話機どうして文字メッセージをやり取りできるサービスです。

本機では、SMSを使用してライトメール\*対応端末とも文字メッセージのやり取りができます。できることは以下の通りです。

- ・ライトメールの受信
- ・ライトメール対応端末へのSMS送信（相手はライトメールとして受信します）

\*：ワイモバイルのライトメール対応端末どうして、電話番号を利用した文字メッセージのやり取りができるサービスです。

### ● ご注意

- 操作ロック（89ページ）の「メール」が「禁止」に設定されているときは、メール機能利用時に暗証番号を入力する必要があります。また、メールを受信したときにピクトインフォメーション（82ページ）が表示されません。
- 管理者ロックの「メールの使用を許可」（102ページ）が「許可しない」に設定されているときは、メール機能を利用することができません。

## SMS機能の仕様

メッセージに入力できる文字数は、日本語（半角英数記号以外）で670文字、英語（半角英数記号）で1530文字までです。

本文が日本語（半角英数記号以外）で70文字、英語（半角英数記号）のみで160文字を超えた場合は連結SMSとして送信されます。

項目	最大件数	備考
受信メール	100件	・保護できるのは最大件数の半分です。
送信メール	100件	
未送信メール	30件	

### ● ご注意

- 連結SMSは、ワイモバイルのSMSに対応したPHS間でのみ送受信可能です。
- SMSを送信するときは、送信先がSMSもしくはライトメール対応機種である必要があります。
- ライトメール対応端末にSMSを送信した場合、送信できる文字数は全角45文字、半角90文字までです。
- SMSは、分計サービス（130ページ）を使用して送信することはできません。
- SMSを引用返信する場合、SMSで送信可能な絵文字に制限される為、アニメーションを含む絵文字が一部削除される場合があります。

## メールメニューについて

メールメニューは、メールに関するさまざまな機能の入り口になります。

待受画面で  を押す

以下の項目から選択します。

1 受信BOX	すべての受信メールが表示されます（「受信BOXから受信したメールを読む」71ページ）。
2 送信BOX	送信済みのメールが表示されます。
3 未送信BOX	未送信のメールや送信を中止したメール、送信に失敗したメールが表示されます。
4 メール作成	SMSの作成を行います（「SMSを作成して送信する」67ページ）。
5 配信レポート	◆ 「受信する」または「受信しない」を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【決定】</b>
お買い上げ時： 「受信しない」	送信したSMSを相手が受け取ったかどうかの通知を受信するか設定します。

## SMSを作成して送信する

新しくSMSを作成して送信します。


作成したSMSは、すぐに送信せずに下書き保存しておくこともできます（「作成したSMSを下書き保存する」69ページ）。

### 待受画面で

#### 1 ▶ 4 「メール作成」

SMS作成画面が表示されます。

以下の項目を入力または選択します。

 (宛先)	SMSの宛先（電話番号）を入力します（「To（宛先）を入力する（SMS）」68ページ）。
本文入力欄	SMSの本文を入力します（「SMSの本文を入力する」68ページ）。

#### 2 「送信」\*を選択し、 「選択」

\*：宛先と本文が入力されていない場合は選択することができません。

送信したSMSは、「送信BOX」に保存されます。


### ご注意

- 連結SMSは、ワイモバイルのSMSに対応したPHS間でのみ送受信可能です。
- 相手の電話機がSMS非対応でライトメール対応の場合、SMSを送信すると全角45文字、半角90文字までのライトメールとして受信します。相手の電話機がライトメール/SMSともに非対応の場合は、SMSの送信失敗となります。
- 相手の電話機の種類によっては一部表示できない文字があります。
- 送信メールは100件まで、未送信メールは30件まで保存されます。それぞれ100件、30件を超えると古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。
- 通話中は、SMSを送信することはできません。

### お知らせ


- SMS作成画面を表示するには、以下の操作でも行えます。

待受画面でを長く（1秒以上）押す

- 送信に失敗したSMSは、「未送信BOX」に保存されます。
- 「送信BOX」に保存できる件数を超えると、古いメールから自動的に削除されます。ただし、保護されているメールは削除されません。
- SMS作成画面で【メニュー】を押すと、以下の項目が表示されます。

1 送信*	作成したSMSを送信します。
2 保存*	作成したSMSを「未送信BOX」に保存します（「作成したSMSを下書き保存する」69ページ）。
3 プレビュー	プレビュー画面が表示されます。
4 配信レポート	相手がSMSを受け取ったことをお知らせするかどうか、設定します。

\*：宛先と本文が入力されていない場合は選択できません。

- 手順1の後にキーを押してもメールを送信することができます。
- 「+（プラス）」付きの電話番号にSMSを送信すると、「+（プラス）」が「010」に変換されて送信されます。ただし、「+81」と入力した場合は「+81」が「0」に変換されて送信されます。

## To (宛先) を入力する (SMS)

宛先の電話番号を入力します。入力できる電話番号は18桁までです。

SMS作成画面で  で「**To (宛先)**」を選択し、 **【選択】**

以下の項目から選択します。

1 発信履歴	▶ 引用したい発信履歴を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> 発信履歴に記憶されている電話番号を選択します。
2 着信履歴	▶ 引用したい着信履歴を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> 着信履歴に記憶されている電話番号を選択します。
3 電話帳を開く	▶ 電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ 電話番号を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> 電話帳に登録されている電話番号を選択します。
4 直接入力	電話番号を直接入力します。
5 削除	入力した電話番号を削除します。



● 4 「直接入力」を選択して入力中に  **【引用】** を押すと、以下の項目が表示されます。

1 電話帳	▶ 電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> ▶ 電話番号を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> 電話帳に登録されている電話番号を選択します。
2 発信履歴	▶ 引用したい電話番号を選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b>
3 着信履歴	発信履歴／着信履歴／ダイヤルメモ／プロフィールから電話番号を選択します。
4 ダイヤルメモ	
5 プロフィール	

## SMSの本文を入力する

SMSの本文を入力します。日本語（半角英数記号以外）で670文字、英語（半角英数記号）で1530文字まで入力できます。

本文が日本語（半角英数記号以外）で70文字、英語（半角英数記号）のみで160文字を超えた場合は連結SMSとして送信されます。

SMS作成画面で

1  で本文入力欄を選択し、 **【選択】** ▶ **本文を入力**

2  **【確定】** を押す



● 連結SMSは、ワイモバイルのSMSに対応したPHS間でのみ送受信可能です。



● 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」（46ページ）をご参照ください。  
● 本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます（「文字入力メニューを使う」49ページ）。

## 作成したSMSを下書き保存する

後で編集を加えてから送信したいSMSは下書き保存しておきます。  
下書き保存したSMSを「下書きSMS」と呼びます。

SMS作成画面で  [メニュー] ▶  「保存」

下書きSMSは、「未送信BOX」に保存されます。

## 相手がSMSを受け取ったか確認する

相手がSMSを受け取ったことをお知らせするかどうか、設定することができます。

SMS作成画面で  [メニュー] ▶  「配信レポート」

## 下書きSMSを編集して送信する

待受画面で

**1**  ▶  「未送信BOX」 ▶ 下書きSMSを選択 ▶  [メニュー] ▶  「編集」

**2** SMSを編集 ▶ 「送信」\*を選択し、 [選択]

\*：宛先と本文が入力されていない場合は選択することができません。

送信せずに下書き保存することもできます（「作成したSMSを下書き保存する」69ページ）。

 お知らせ

- 保護された下書きSMSは編集できません。編集操作を行う前に、メールの保護を解除してください（「メールを保護する」76ページ）。



## ● メールを受信／返信／転送する

### 🔔 ご注意

- アニメーション絵文字を含むSMSを引用返信する場合、アニメーション絵文字は削除されます。

### 🔔 お知らせ

- 「ピクトインフォメーション」(82ページ)を設定している場合、新しいメールを受信すると、受信したメールの差出人、本文、件数などの情報をディスプレイのピクト表示エリアに通知します。

## 受信したメールを読む

### ■ メールを自動的に受信して読む

SMSを受信した場合、メール受信音や待受画面の表示で、メールの受信をお知らせします。この新着情報の表示中に **■** **【選択】** を押すだけで最新のメールを確認することができます。

**待受画面 (新着情報表示画面) で** **新着情報表示を確認し、** **■** **【選択】** **または** **☑** **▶ 受信メール一覧から確認したいメールを選択し、** **■** **【選択】**

選択した受信メールの内容が表示されます (受信メール詳細画面)。

### 🔔 ご注意

- メールを受信したときの受信音量は、音量1から1段階ごとに、設定した音量まで一定の間隔で音が大きくなります (「SMSの受信音／バイブレータを設定する」78ページ)。
- 新着メールを後で確認したい場合は、**☑**または**☑**を押してください。この場合、新着メールの確認は、「受信BOX」から行います (「受信BOXから受信したメールを読む」71ページ)。
- SMSの受信メールは、100件まで保存されます。100件を超えると、既読の古いメール (保護されていないメール) から自動的に削除されます。

## ■ 受信BOXから受信したメールを読む







受信したメールは「受信BOX」に保存されます。確認したい受信メールを選択すると、内容が表示されます。


待受画面で  ▶  「受信BOX」 ▶ メールを選択し、 【選択】


選択した受信メールの内容が表示されます（受信メール詳細画面）。

 お知らせ

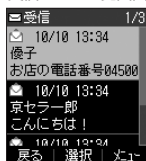
● 受信メール詳細画面では、以下の操作を行うことができます。

- ・  : 1行ずつ表示をスクロールします。
- ・  : 前後のメールを表示します。
- ・  : 次のページへスクロールします。
- ・  : 前のページへスクロールします。
- ・  : メール一覧画面に戻ります。
- ・  : 待受画面に戻ります。

・  【メニュー】: メニューを表示し、メールの返信や削除など、さまざまな機能を使用できます（「受信／送信／未送信メール詳細画面のメニューを使う」75ページ）。

- SMSの受信メールは100件まで保存されます。100件を超えると既読の古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。
- 受信メール詳細画面の本文中に、電話番号、Eメールアドレス、URLがある場合、それらの文字列を選択し、 【選択】を押すと、直接電話をかけたり、SMSの作成、電話帳への登録などが行えます（「メール本文の電話番号／Eメールアドレス／URLを直接利用する」73ページ）。

受信メール一覧画面



メール本文中の文字列	できること
URL	電話帳登録（新規登録／追加登録）、コピー
Eメールアドレス	電話帳登録（新規登録／追加登録）、コピー
電話番号	発信（通常発信／特番付発信）、SMS作成、電話帳登録（新規登録／追加登録）、コピー

- 連結SMS受信時に未受信の連結SMSが存在する（連結未完了状態）場合、SMSの本文を参照時、未受信部分は「・・・」と表示されます。

## 受信したSMSに返信する

受信したSMSに返信します。

受信BOX（メール一覧）画面／受信メール詳細画面で  [メニュー] ▶  「返信」 ▶ 本文を編集  
▶ 「送信」\*を選択し、 「選択」

\*：宛先と本文が入力されていない場合は選択することができません。

## 受信したSMSに引用返信する

受信したSMSの本文を引用して返信します。

受信BOX（メール一覧）画面／受信メール詳細画面で  [メニュー] ▶  「引用返信」 ▶ 本文を編集  
▶ 「送信」\*を選択し、 「選択」

\*：宛先と本文が入力されていない場合は選択することができません。

## 受信したSMSを転送する

受信したSMSを、他のSMS対応電話機に転送することができます。

受信BOX（メール一覧）画面／受信メール詳細画面で  [メニュー] ▶  「転送」 ▶ 宛先と本文を編集  
▶ 「送信」\*を選択し、 「選択」

\*：宛先と本文が入力されていない場合は選択することができません。














● 宛先電話番号の入力方法については、「To（宛先）を入力する（SMS）」（68ページ）をご参照ください。

## 受信／送信／未送信メール詳細画面の差出人や宛先を利用する

受信／送信／未送信SMS詳細画面の差出人や宛先の電話番号を利用して、電話をかけたり、SMS作成、電話帳への登録などを行うことができます。

受信／送信／未送信SMS詳細画面で 「差出人」または「宛先」を選択し、 「選択」

以下の項目から選択します。

 発信	▶  「発信」を押す 選択した電話番号に電話をかけます。電話番号を編集して電話をかけることもできます。
 2 メール作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」67ページ）。
 3 電話帳へ登録	 1 新規 選択した電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」54ページ）。
	 2 追加 ▶ 追加登録する電話帳データを選択し、  「選択」 ▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、  「選択」 ▶  「登録」 ▶  「はい」 すでに登録されている電話帳データに、電話番号を追加登録します。*
 4 コピー	選択した電話番号をコピーします（50ページ）。

\*：追加登録したい項目（電話番号）にすでに登録したデータがあるときは上書きされます。

## メール本文の電話番号/Eメールアドレス/URLを直接利用する

メール本文に、電話番号やEメールアドレス、URLがある場合、直接電話をかけたり、SMSの作成、電話帳への登録などを行います。

受信/送信メール詳細画面で **本文中の電話番号/Eメールアドレス/URLを選択し、【選択】**

以下の項目から選択します。

電話番号を選択した場合	<input type="checkbox"/> 発信	<p><input type="checkbox"/> <b>【発信】を押す</b></p> <p>選択した電話番号に電話をかけます。電話番号を編集して電話をかけることもできます。</p>
	<input type="checkbox"/> 2]メール作成	<p>選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」67ページ）。</p>
	<input type="checkbox"/> 3]電話帳へ登録	<p><input type="checkbox"/> 1]新規</p> <p>選択した電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」54ページ）。</p> <p><input type="checkbox"/> 2]追加</p> <p> <input type="checkbox"/> <b>追加登録する電話帳データを選択し、<input type="checkbox"/>【選択】</b> <input type="checkbox"/> <b>登録先を「電話番号1~3」から選択し、<input type="checkbox"/>【選択】</b> <input type="checkbox"/> <b>【登録】</b> <input type="checkbox"/> <b>【はい】</b></p> <p>すでに登録されている電話帳データに、電話番号を追加登録します。*</p>
	<input type="checkbox"/> 4]コピー	<p>選択した電話番号をコピーします（50ページ）。</p>
Eメールアドレス/URLを選択した場合	<input type="checkbox"/> 1]電話帳へ登録	<p><input type="checkbox"/> 1]新規</p> <p>選択したEメールアドレス/URLを電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」54ページ）。</p> <p><input type="checkbox"/> 2]追加</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> <b>Eメールアドレスの場合</b></p> <p> <input type="checkbox"/> <b>追加登録する電話帳データを選択し、<input type="checkbox"/>【選択】</b> <input type="checkbox"/> <b>登録先を「Eメールアドレス1~3」から選択し、<input type="checkbox"/>【選択】</b> <input type="checkbox"/> <b>【登録】</b> <input type="checkbox"/> <b>【はい】</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> <b>URLの場合</b></p> <p> <input type="checkbox"/> <b>追加登録する電話帳データを選択し、<input type="checkbox"/>【選択】</b> <input type="checkbox"/> <b>【登録】</b> <input type="checkbox"/> <b>【はい】</b></p> <p>すでに登録されている電話帳データに、Eメールアドレス/URLを追加登録します。*</p>
	<input type="checkbox"/> 2]コピー	<p>選択したEメールアドレス/URLをコピーします（50ページ）。</p>

\*：追加登録したい項目にすでに登録したデータがあるときは上書きされます。

## ● メールを管理する

- 受信メールの管理について
  - ・ 受信したメールは「受信BOX」に保存されています。
  - ・ 「受信BOX」のメール一覧画面、およびメール詳細画面でメールの削除などの管理が行えます。
- 送信メールの管理について
  - ・ 送信したメールは「送信BOX」に保存されます。
  - ・ 未送信のメール（下書き保存したメール）や送信に失敗したメールは「未送信BOX」に保存されます。
  - ・ 「送信BOX」、「未送信BOX」のメール一覧画面、およびメール詳細画面でメールの削除などの管理が行えます。
- 配信レポートについて
  - ・ 配信レポートは、送信したSMSを相手が受け取ったかどうかを確認することができます。送信BOX画面のアイコンで確認することができます。



- 受信/送信/未送信BOX画面のアイコン表示は、以下のとおりです。

	未読SMSアイコン		既読連結SMSアイコン (未受信SMSあり)
	既読SMSアイコン		既読返信済み連結SMSアイコン (未受信SMSなし)
	送信済みSMSアイコン		既読返信済み連結SMSアイコン (未受信SMSあり)
	返信/転送済みSMSアイコン		送信済みSMSアイコン (配信レポート: 配信成功)
	下書きSMSアイコン		送信済みSMSアイコン (配信レポート: 配信失敗)
	未読連結SMSアイコン (未受信SMSなし)		送信済みSMSアイコン (配信レポート: 配信失敗 (コンカチ規制))
	未読連結SMSアイコン (未受信SMSあり)		保護アイコン
	既読連結SMSアイコン (未受信SMSなし)		

※コンカチ規制とは、相手側のネットワークが連結SMSに対応していなかったことを示します。

### 受信/送信/未送信BOX (メール一覧) 画面のメニューを使う

受信/送信/未送信BOX (メール一覧) 画面で [メニュー] を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している画面により異なります。

返信 <sup>*1</sup>	選択した受信メールの差出人に返信します (「受信したSMSに返信する」72ページ)。
編集 <sup>*2</sup>	選択したメールを編集します (「下書きSMSを編集して送信する」69ページ)。
送信 <sup>*3</sup>	選択したメールを送信します。
転送 <sup>*1</sup>	選択した受信メールを転送します (「受信したSMSを転送する」72ページ)。
引用返信 <sup>*1</sup>	選択した受信メールの差出人に、受信メールの本文を引用して返信します (「受信したSMSに引用返信する」72ページ)。
削除	メールを削除します (「メールを削除する」75ページ)。
保護/保護解除	選択したメールを保護/保護解除します (「メールを保護する」76ページ)。

\*1: 受信BOX画面の場合のみ表示されます。

\*2: 送信BOX画面と未送信BOX画面の場合のみ表示されます。

\*3: 未送信BOX画面の場合のみ表示されます。

## 受信／送信／未送信メール詳細画面のメニューを使う

受信／送信／未送信メール詳細画面で  **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している画面により異なります。

返信*1	表示している受信メールの差出人に返信します（「受信したSMSに返信する」72ページ）。
編集*2	表示しているメールを編集します（「下書きSMSを編集して送信する」69ページ）。
送信*3	表示しているメールを送信します。
転送*1	表示している受信メールを転送します（「受信したSMSを転送する」72ページ）。
引用返信*1	表示している受信メールの差出人に、受信メールの本文を引用して返信します（「受信したSMSに引用返信する」72ページ）。
削除	表示しているメールを削除します（「メールを削除する」75ページ）。
保護／保護解除	表示しているメールを保護／保護解除します（「メールを保護する」76ページ）。
コピー	表示しているメールの本文をコピーします（「文字をコピー／カット／貼り付けする」50ページ）。

\*1：受信メール詳細画面の場合のみ表示されます。

\*2：送信メール詳細画面と未送信メール詳細画面の場合のみ表示されます。

\*3：未送信メール詳細画面の場合のみ表示されます。

## メールを削除する



 **ご注意**

●一度削除したメールは復元できません。まとめて削除する場合は特にご注意ください。

### ■ 受信／送信／未送信BOX（メール一覧）画面から削除する

受信／送信／未送信BOX（メール一覧）画面で  **【メニュー】** ▶ **「削除」** を選択し、 **【選択】**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1件	▶ <input type="checkbox"/> <b>「はい」</b> を押す 選択したメールを削除します。
<input type="checkbox"/> 2 選択	▶ 削除するメールを選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【選択】</b> を繰り返す ▶  <b>【削除】</b> ▶ <input type="checkbox"/> <b>「はい」</b> 複数のメールを選択して削除します。選択を解除するには、選択済みのメールを再度選択し、 <input type="checkbox"/> <b>【解除】</b> を押します。 メール選択中に  <b>【詳細】</b> を押すと、メールの詳細を確認することができます。
<input type="checkbox"/> 3 全件	下書きのみ*1 ▶ <input type="checkbox"/> <b>暗証番号を入力</b> ▶ <input type="checkbox"/> <b>「はい」</b> 既読のみ*2 保護以外 全件 選択した条件に合ったすべてのメールを削除します。

\*1：未送信BOXのみ表示されます。

\*2：受信BOXのみ表示されます。

### ■ メール詳細画面から削除する

受信／送信／未送信メール詳細画面で  **【メニュー】** ▶ **「削除」** を選択し、 **【選択】** ▶  **「はい」**

## メールを保護する

送受信したメールは、本機の最大件数を超えると、送受信日時の古い既読メールから自動的に削除されます。大事なメールが自動削除されたり、誤って削除してしまわないように保護を設定することができます。

受信 / 送信 / 未送信BOX (メール一覧) / メール詳細画面で  [メニュー] ▶ 「保護 / 保護解除」を選択し、 [選択]

設定した保護を解除する場合は、もう一度同じ操作を行ってください。



- 保護されたメールには、「」が表示されます。
- SMSの保護設定の最大件数は、受信BOXが50件、送信BOXが50件、未送信BOXが15件です。